



祝 松江城国宝化記念

## 地方創生と地域貢献



企業ボランティア松江ネットワーク会議

副会長 松尾倫男

(山陰中央新報社 代表取締役社長)

二〇一五年は「地方創生」元年と言われます。人口減、少子高齢化と戦う地方の自主自立の動きを後押しする。それが報道機関としての責任です。地域の活力源を探し、元気をだしてもらおうような報道を続けています。一方で社会貢献も大きなテーマです。「地域との共動」をスローガンに掲げているのはそのためです。この機会に新聞社の活動の一端を知っていただきたく思います。

テニスの錦織圭選手が昨年の全米オープンで二位になり、先ごろの全仏は惜しくもベスト8でしたが、世界一を狙える位置にいます。現地へ特派員を出して報道していますが、読者をワクワク、元気にさせてくれます。まさに活力源です。「企業ボランティア松江ネットワーク会議」が発足したのは一九九七年で、その二年前の阪神淡路大震災でボランティア支援がクローズアップされたのがきっかけです。その阪神淡路大震災、そして二〇一一年の東日本大震災では、山陰中央新報社と山陰中央新報社会福祉事業団では、義援金を受け付け、

九億四五〇〇万円余りを日本赤十字社を通じて被災地へ送りました。

「一隅を照らす人」を顕彰する地域開発賞は、スポーツ賞が五十九回、そのほか文化賞五十三回など半世紀を超える社会貢献事業です。年末開催の余芸大会は松江、出雲、益田、雲南、津和野、米子、境港で開き、益金は各自治体などに贈っています。

NPO法人「斐伊川くらぶ」が呼び掛けた大根島の桜の植樹、鳥根県が進める「しまね企業参加の森づくり」での花仙山植樹、また「小さな親切」運動山陰本部が行う海岸清掃などに社員が参加し、「地域との共動」を実践しています。

社員が地域に出かけて活動し、ボランティアに携わる。地域の活力源を報道する。大きく輪が広がることを期待しています。山陰地区の読者に「日本一の新聞」といつてもらえるよう、全社員の力を結集させます。

昨年十二月に社長に就任し、副会長職を引き継ぎました。よろしくお願ひします。

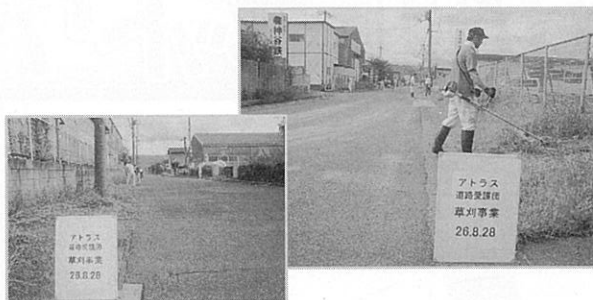
# 会員の地域活動紹介

## 株式会社アトラス

### アトラス道路愛護団

毎年6月頃、8月頃（雑草の伸びる時期）の2回、会社近くの市道の草刈り作業を行います。

基本的に全社員（20人前後）で平日の夕方にかけて行い、同時に空き缶などのゴミ拾いも行います。



作業中の様子

## JAF島根支部

### JAF島根支部の活動を紹介します

JAF島根支部では企業や学校、地域からの依頼により交通安全講習会の講師派遣やシートベルトコンビンサーによる全席シートベルトの着用促進を行っています。



コンビンサー

その他「子ども免許証」の作成を通じて子どもやその保護者の方々に対して交通ルールの周知活動など、まだまだたくさん用意しています。

詳しくは <http://www.jaf.or.jp/> まで

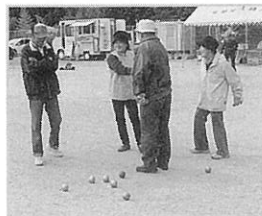


子ども免許証

## 住友生命保険相互会社 松江支社

当社は毎年秋に社名をかかげ『スミセイ杯 島根県オープンペタンク大会』を開催し、昨年で23回目と長きにわたり実施しております。

このような活動を通じて地域との交流、そして世代を超えた交流を深める場をつくるお手伝いのできればと考えております。



ペタンク大会の様子



## まるなか建設株式会社

まるなか建設株式会社では、6月5日(金)に河川愛護団の活動として、近隣の忌部川の除草作業を行いました。数日前に梅雨入りしたこともあり、途中雨が降り出すなど悪天候の中での作業となりました。半日の作業で刈り取った雑草は、トラック延べ5台分となりました。



忌部川の除草作業の様子

## 株式会社ユニコン

私たちは、松江市民の清掃活動「クリーンまつえ」の時期に合わせて年2回、会社周辺区域の清掃活動をしています。

今年は6月19日の夕方行いました。

会社裏の天神川沿、土手の草刈には町内会の方も参加され、草刈機の音がひときわ賑やかに響きました。



清掃活動の様子



本日の作業説明!

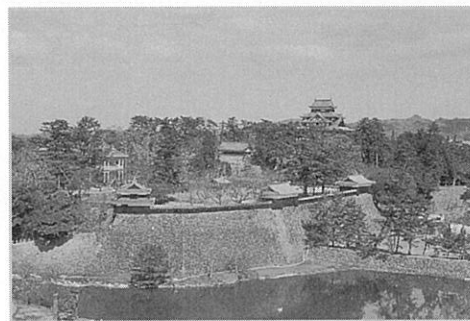
## 総会・記念講演会開催のお知らせ

本年度の総会・記念講演会は下記日程となります。  
つきましては、会員の皆様に参加お待ちしております。

日時：平成27年9月15日(火)

会場：ホテル白鳥

総	会	15:00 ~ 15:50
記	念講演会	16:00 ~ 17:00
演	題	「国宝松江城と城下町の魅力」
講	師	松江歴史館専門官 宍道正年 氏
懇	親 会	17:30 ~ (予定)



## 松江市への協カイベント紹介



### 2015神在月 松江水燈路

松江城周辺をライトアップする「松江水燈路」は、今回で13回目。国宝松江城を中心として、10月の1ヶ月間、土・日・祝をメインに行われます。松江らしさをテーマに描かれた行灯はあたたかな光で観光客をおもてなしします。

多くの市民が参加する手作り行灯コンテストに、本会議は優秀作品の表彰に貢献しております。

今年も、会員の皆様のご参加、ご協力をお願いします。

表彰式：10月3日(土) 19:00 ~ (会場：興雲閣)

《個人会員》

☆高木 茂様  
☆坂本 和代様

(平成二十七年三月)  
平成二十七年六月まで

新規加入会員の紹介

### 松江城国宝指定記念だんだん夏踊り開催日決定!

<開催日> 平成27年8月29日(土)

<場所> 松江城周辺

今年は、松江城を出発、殿町・松江大橋へ向かいます。

第1部「自由曲」の部

第2部「松江夜曲」の部

皆さま、お誘い合わせのうえお出かけください。



詳細については、松江だんだん夏踊り公式フェイスブックをご覧ください。



# 主催・協力事業報告

## 赤い羽根共同募金運動に協力

平成26年10月1日実施

伝達式及び街頭募金活動への参加企業（17団体）

ジブラルタル生命保険(株)松江エリア、(株)一畑百貨店、(有)奥田産業、カナツ技建工業(株)、(福)湖北ふれあい、(株)山陰合同銀行、島根県農業協同組合くまびき地区本部、中国電力(株)島根支社、(有)友田大洋堂、(有)藤谷産業、東出雲商工会、松江土建(株)、まるなか建設(株)、三井住友海上火災保険(株)山陰支店、和光産業(株)、宝持運輸(株)、(株)エネルギー・ライフ & アクセス 松江営業所

ご協力有難うございました。



JR松江駅での街頭募金

## 第10回記念松江市 ボランティアフェスティバル

### 広がれボランティアの輪 『共に創ろう未来のまつえ』

3月22日(日)松江市総合福祉センター(千鳥町)において開催し、約1,000名の参加者でにぎわいました。

当会も主催団体として、スタッフに加わり、東日本大震災被災地支援の物品販売をしました。また、福まきの景品協力を各企業で行いました。



開会行事

このイベントを通して、沢山の子ども達の出演や、スタッフとして取り組む姿は、確実に未来に繋がっていると感ずることが出来ました。



東日本大震災被災地支援 物品販売



高校生ステージ発表

## 第3回被災地から学ぶフォーラム in 松江

3月14日ホテル一畑を会場に開催されました。この会は東日本大震災をきっかけに、ボランティア団体、NPO、企業ボランティア松江ネットワーク会議、行政、市社会福祉協議会で結成した支援協議会の有志が第1回(平成25年3月)東出雲町、第2回(平成26年3月)美保関町に続いて開催しました。

今年は、高校生被災地ボランティア体験の4校9名の生徒達と、一般3名により「これからの災害に対してできること」と題してシンポジウムが行われました。その他、高校生



シンポジウムの様子

による復興創作ダンス、講演、避難所テント体験、被災地物品販売、高校生によるチャリティー茶室なども開催され約350名の参加者で“伝えたい、広げたい、続けたい”思いを伝え合いました。

今回は、実行委員長にカナツ技建工業株式会社 金津任紀社長が引き受けられ、85社の企業、事業所、個人等の協賛を頂き実行委員会のボランティアスタッフ60名の積極的な運営により今後風化させないよう継続を誓いました。

私たちに何ができるか

ひとりひとりから始めよう